

今年もあと2週を残すだけになりました。師走の言葉が出ると早いものですね。

2023/5/8、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行、社会、企業等における環境が大きく変化した分岐点だったように思います。コロナがいなくなったわけではないですが、先行きが少し見えてきたような、人それぞれに、それなりのゆとりが持てるようになったのかもしれませんが。安心につながったところもあったのではと思うことも、いかがでしょうか。「5類感染症」に移行して、初めての年末年始。どんな状況に、いろいろ懸念する要素もあるようですが、現在、海外で「JN. 1」という新型コロナの変異ウイルスが猛威をふるっており、今年最多の感染者数を記録している国が散見されるとの報道もあります。国内でもインフルエンザ、コロナが増加し始めている、まだまだご留意していきましょう。(菅野)

目次

- 1 人口減少社会への対応と人手不足の下での企業の人材確保に向けて」資料を掲載
- 2 雇用保険制度の見直しに向け報告素案を提示、週10時間以上へ適用拡大／厚労省
- 3 関連情報

1 「人口減少社会への対応と人手不足の下での企業の人材確保に向けて」資料を掲載。

～人材不足解消のカギは仕事と子育ての両立支援！～

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=-xycXgZl2PpzctBpY>

(資料) 事業主の仕事と育児の両立支援に関する意識改革に資する周知用資料(12月13日差し替え) [2.1MB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/001178212.pdf>

男性が育児休業を取得しない理由には、職場が育児休業を取得しづらい雰囲気であることなどが挙げられている一方で、企業が両立支援策を進めていく上での課題として、代替要員の確保の難しさや、職場での不公平感への対応が挙げられており、両立支援等助成金などの既存の支援策の周知と併せて、育児休業を取得しやすい職場環境作りに向けた事業主の意識改革も重要となっています。

企業への現行の支援策

- 両立支援等助成金 (中小企業の事業主に助成)
- 男性の育児休業取得促進事業 (イクメンプロジェクト)
- 中小企業育児・介護休業等 推進支援事業

さらに、本年6月に閣議決定した「こども未来戦略方針」が掲げる「共働き・子育て」を強力に進めるため、

- ・男性の育休取得率の目標の大幅な引上げ(2030年に85%→男性育休が当たり前の社会に)
- ・柔軟な働き方実現するための措置(3歳～小学校就学前までの間、時短勤務やテレワーク、フレックス勤務などを労働者が選択できる制度)の創設
- ・「育児時短就業給付(こどもが2歳未満の期間に時短勤務を選択した者に対する給付)」の創設

- ・「子の看護休暇」の取得促進に向けた支援などの取組を行うとともに、男女の育児休業を支える体制整備を行う中小企業に対する助成措置を大幅に強化していく

2 雇用保険制度の見直しに向け報告素案を提示、週10時間以上へ適用拡大／厚労省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36817.htm

厚生労働省は13日、労働政策審議会雇用保険部会を開催し、雇用保険制度等の見直しに向けた部会報告（素案）を示した。雇用保険制度の適用拡大については、雇用のセーフティネットを拡げる観点から、週の所定労働時間が10時間以上20時間未満の労働者にも適用すること（2028年度中に施行）、自己都合離職者の給付制限期間（給付開始までの待期間）については、現行の2カ月を2025年度から1カ月に短縮すること、「専門実践教育訓練給付金」については、受講前後を比べ賃金が一定（5%）以上上昇した場合には費用の10%を追加することにともない、「教育訓練給付金」の給付率を最大で受講費用の80%に引き上げること、育児休業給付金については、両親がともに一定期間以上の育休を取得した場合には28日間を限度に、休業開始前賃金の80%相当額の給付を支給すること、2歳未満の子を養育する時短勤務者には、「育児時短就業給付（仮称）」を創設し、給付率は時短勤務中の賃金額の10%とすること、などが盛り込まれた。

3 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料を更新しました

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=c5X03Qqkf5VBmtzhY>

2023年12月15日 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生状況等について

[363KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/001178927.pdf>

報道発表資料 （報告総数：17,379 定点当たり：3.52）

- (2) 「令和4年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場」を公表します

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=0zVXZmsp9bzGYJ9BY>

1,133 事業場（うち新規公表 860 事業場）

建設業以外の事業場（第1表） 408 事業場（うち新規公表 211 事業場）

建設業の事業場（第2表） 725 事業場（うち新規公表 649 事業場）

* 平成17年7月の第1回公表以来、今回の令和4年度分で、延べ18,134事業場を公表。

この公表は、以下の3点を目的に行うものです。

- 1) 公表事業場で過去に就労していた労働者の方々に対して、石綿ばく露作業に従事した可能性があることの注意を喚起する。
- 2) 公表事業場の周辺住民の方々が、ご自身の健康状態を改めて確認する契機とする。
- 3) 関係省庁、地方公共団体などが石綿健康被害対策に取り組む際の情報を提供する。

(3) 「令和4年度 石綿による疾病に関する労災保険給付などの請求・決定状況まとめ (確定値)」を公表します

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=E_WXpqvpNXwGoFyBY

「労災保険給付」の令和4年度の請求件数は1,361件(石綿肺を除く)、支給決定件数は1,079件(同)で、請求件数・支給決定件数ともに、昨年度と比べやや増加しました。「特別遺族給付金」の令和4年度の請求件数は132件で、支給決定件数は170件でした。

(4) アスベスト(石綿)情報

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=U7XX5uupdTxB4B3BY>

(5) お知らせ

【事業主の皆さま、「年収の壁」対策として労働者1人につき最大50万円助成します!】

令和5年10月20日より、「年収の壁」に対応するために、キャリアアップ助成金に「社会保険適用時処遇改善コース」を設けました。

本コースにおいては、10月1日以降、社会保険に加入となった労働者に対して、手当等の支給や労働時間の延長を行うなどの収入を増加させる取組を行った場合に、労働者1人あたり最大50万円を事業主に対して助成します。

【詳細はこちら】

●キャリアアップ助成金(社会保険適用時処遇改善コース)の概要等をわかりやすく解説した動画や、「一般の方向け」「事業主の方向け」のQ&A等を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/syakaihoke_n_tekiyou.html

●「年収の壁・支援強化パッケージ」についてはこちら

https://www.mhlw.go.jp/stf/taiou_001_00002.html

【お問い合わせ】年収の壁突破・総合相談窓口 0120-030-045(フリーダイヤル・無料)
受付時間:平日8:30~18:15(土日・祝日・年末年始(12/29~1/3))はご利用いただけません。

◇ J I L P T から

(1) 実質的な残業時間が平均で過労死ラインを超過/日教組調査

教員の実質的な月の残業時間は平均でいわゆる「過労死ライン」の80時間を上回っている一日教組(約20万6,000人)が11月30日に公表した今年の「学校現場の働き方改革に関する意識調査」で、こうした実態がわかった。また、4割弱の人が1日の休憩時間を「0分」と答えている。日教組は「長時間労働はほとんど改善されておらず、業務の持ち帰りも常態化している」などとして、教員の業務削減や定数改善の早急な実現を求めている。(JILPT調査部)

<https://www.jil.go.jp/kokunai/topics/mm/20231213b.html?mm=1923>

(2) 雇用調整助成金の見直しの方向性、教育訓練促進の仕組みなど提案／厚労省

厚生労働省は 13 日、労働政策審議会職業安定分科会を開催し、雇用調整助成金の見直しの方向性の案を示した。雇用調整助成金を長く受給した場合に、労働者のモチベーションや職業能力、労働移動に影響を与えるといった指摘を踏まえ、「支給日数が 30 日を超えた場合には、教育訓練を選択することを促進する仕組み」を提示。具体的に、教育訓練を行う場合と行わない場合に差を設け、教育訓練を一定割合（支給日数の 10 分の 1 以上）実施しない場合には、現行の助成率を大企業は 2 分の 1 から 4 分の 1 に、中小企業は 3 分の 2 から 2 分の 1 に引き下げ、教育訓練を支給日数の 5 分の 1 以上実施する場合には、加算額を 1,800 円に引き上げる、などとした。（資料 2、5 頁）分科会ではこの他に、雇用保険法施行規則の一部を改正する省令案要綱を諮問した。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_030127159_001_00062.html

▽資料 2（雇用調整助成金について）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11601000/001178072.pdf>

(3) 中期の事業上のリスクでは「必要な人材の不足」がトップ／経団連調査

経団連は 12 日、企業会員 1,546 社を対象とした「政策要望等に関するアンケート調査」調査結果を公表した。企業が重要視する事業上のリスクは、短期（1 年程度）では、「資源価格の高騰」（47.9%）、「為替の急激な変動」（33.6%）、「必要な人材の不足」（30.9%）が上位。中期（2～5 年程度）では、「必要な人材の不足」（49.3%）、「従来型ビジネスモデルの陳腐化」（30.9%）が前回調査（2023 年春）に続き上位を占めた。政府が重点的に取り組むべき施策（中期）では、「GX 推進への支援」（52.8%）、「DX 推進への支援」（42.1%）が上位。製造業では「サプライチェーン多元化・強靱化への支援」（42.6%）、非製造業では「少子化への対応」（39.1%）も多くあがった。

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2023/078.pdf>

(4) 「こども未来戦略」案を議論、「共働き・共育て社会」推進の取組強化も盛り込む／政府会議

政府は 11 日、こども未来戦略会議を開催し、「こども未来戦略」案について議論した。首相は議論を踏まえ、「戦略案では、前例のない規模での政策強化の具体案を盛り込み、子供一人当たりの家族関係支出は、OECD トップのスウェーデンの水準に達し、画的に前進する」とした上で、経済的支援の強化として「児童手当の抜本拡充」や「高等教育費の支援の拡充」を挙げ、共働き・共育て社会の推進に向けた取組強化としては、「出生後の一定期間、育休給付率を手取り 10 割に引き上げるほか、テレワークや時短勤務など柔軟な働き方を選べる制度を設け、時短勤務の場合でも給付をもらえるようにする」などと述べた。

https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202312/11kodomo.html

▽資料

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo_mirai/dai8/gijisidai.html

▽「こども未来戦略」案

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo_mirai/dai8/siryou1.pdf

◇ 保健指導リソースガイド | メールマガジン から

(1) 「健康日本 21 (第三次)」アクションプラン策定へ始動

実効性を高めるための情報発信のあり方・好事例公開を検討

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/cwuvnsq1e337/cntht64v/>

(2) 女性の更年期障害は職場にも広範囲に影響

女性の健康を改善すると職場も良くなる 更年期応援ガイドを策定

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/q6eqe9m6wy46/cntht64v/>

(3) 「座りすぎの生活」の悪影響が世界的に注目される理由 立ち上がって体を動かす習慣を

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/g7c6surxstgo/cntht64v/>

(4) はじめよう飲酒対策・減酒支援! 「アルコールと保健指導」特設ページ

～面談時に”30秒”のできる「超簡易減酒支援」資料掲載中～

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/w3gjo9r5kmh9/cntht64v/>

(5) 「第4期特定健診・特定保健指導」特設ページ

基本資料の確認や、健診・保健指導に関する最新情報を公開中

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/b3rcxwfwouqt/cntht64v/>

◇ ◆【From_M】 から 情報提供ありがとうございます。

◆第67回中国四国合同産業衛生学会事務局

第67回中国四国合同産業衛生学会の抄録集を公開いたしました。

<https://chushi-sanei67->

[matsuyama.jimdofree.com/%E6%8A%84%E9%8C%B2%E9%9B%86/](https://chushi-sanei67-matsuyama.jimdofree.com/%E6%8A%84%E9%8C%B2%E9%9B%86/)

<https://chushi-sanei67->

[matsuyama.jimdofree.com/app/download/16777971624/%E3%80%90%E6%8A%84%E9%8C%B2%E9%9B%86%E3%80%91%E7%AC%AC67%E5%9B%9E%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E5%9B%9B%E5%9B%BD%E5%90%88%E5%90%8C%E7%94%A3%E6%A5%AD%E8%A1%9B%E7%94%9F.pdf?t=1701853818](https://chushi-sanei67-matsuyama.jimdofree.com/app/download/16777971624/%E3%80%90%E6%8A%84%E9%8C%B2%E9%9B%86%E3%80%91%E7%AC%AC67%E5%9B%9E%E4%B8%AD%E5%9B%BD%E5%9B%9B%E5%9B%BD%E5%90%88%E5%90%8C%E7%94%A3%E6%A5%AD%E8%A1%9B%E7%94%9F.pdf?t=1701853818)

メインテーマ：すべての就業者に産業保健を届ける

企画運営委員長：三宅吉博（愛媛大学大学院医学系研究科 疫学・公衆衛生学講座）

主催：社団法人 日本産業衛生学会 四国地方会

会期：令和5年12月2日（土）～3日（日）

会場：愛媛大学城北キャンパス（愛媛県松山市文京町3）

◆「令和5年度キャリア教育推進連携シンポジウム」を1月25日に開催

～3省合同でキャリア教育の先進事例を紹介～

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36834.html

厚生労働省は、令和6年1月25日(木)に、文部科学省、経済産業省と共催で、「令和5年度キャリア教育推進連携シンポジウム」を開催します。費用：無料

日 時：令和6年1月25日(木) 14:00～16:30(予定)

場 所：三田共用会議所 講堂 (東京都港区三田2-1-8)

実施方法：会場での対面形式とオンライン配信によるハイブリッド開催

※表彰式関係者以外の方はオンライン配信のみの参加となります。

申し込み：下記URLからお申し込みください。申込期限：令和6年1月23日(火)12時

<https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/sangyozinzai/career-education2023>

◆特別労働相談受付日における相談結果を公表します

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_36312.html

毎年11月を過重労働解消キャンペーン月間としており、その一環として11月3日(金・祝日)に実施した特別労働相談受付日における相談結果を公表します(※1)。

特別労働相談では、合計で509件の相談が寄せられました。これらの相談のうち、労働基準関係法令上、問題があると認められる事案については、相談者の希望を確認した上で労働基準監督署に情報提供を行い、監督指導を実施するなど、必要な対応を行っています。

【相談結果の概要】

相談件数 合計 509件

■主な相談内容

長時間労働・過重労働	80件(15.7%)
賃金不払残業	61件(12.0%)
賃金不払(賃金不払残業除く)	46件(9.0%)
休日・休暇	31件(6.1%)
パワハラ	55件(10.8%)

■主な相談者の属性

労働者	372件(73.1%)
労働者の家族	71件(13.9%)
その他(使用者、不明等)	66件(13.0%)

■主な事業場の業種

その他の事業(※2)	58件(11.4%)
保健衛生業	49件(9.6%)
商業	44件(8.6%)

【報道発表資料】特別労働相談受付日における相談結果を公表します [PDF形式:163KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11202000/000874427.pdf>

【別添資料】相談事例 [PDF形式:64KB]

<https://www.mhlw.go.jp/content/11202000/000875157.pdf>

◆輝く 100 年！延ばそう健康寿命 ~フレイルと食の関係~

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4962327002bcd8278cc109789cd7e58b7d887c20>

「輝く 100 年！延ばそう健康寿命」は
健康寿命を延ばすための健康づくりについて考えるコーナーです。
今回はフレイルと食の関係について紹介します

◆育児で時短、賃金の 1 割給付 子育て支援を充実 厚労省

<https://news.yahoo.co.jp/articles/274b4f6903697cbb4e9b426e324ea322f3aef20a>

厚生労働省は 11 日、労働政策審議会（厚労相の諮問機関）の部会を開き、育児で時短勤務する人に対して賃金の 10%を給付する案を示した。

育児と両立できる多様な働き方を後押しするため、子育て支援を充実する。2025 年度からの実施を目指す。給付は、2 歳未満の子どもを育てる人が対象。給付額は時短勤務で減った賃金の 10%分とし、給付と賃金の合計が通常勤務時の賃金を超えないようにする。

◆精神科病院における精神障害者に対する虐待防止措置及び虐待通報の周知等について

<https://www.mhlw.go.jp/content/001178769.pdf>

- 第 1 精神科病院における精神障害者に対する虐待防止措置
- 第 2 精神科病院における虐待通報の周知及び相談体制の整備

◆特別編 学会委員会に聞いてみました！

vol.01 / 『メンタルヘルス委員会』 日本プライマリ・ケア連合学会

<https://www.primarycare-japan.com/news-detail.php?nid=623>

◆「自分のことばかり考えている人が、鬱になるんだよ」

ジブリ鈴木敏夫プロデューサーから学んだ「スランプから抜け出す」たった 1 つの方法

<https://bunshun.jp/articles/-/67605>

◆【12 月 22 日開催：特典資料付き】

M-ORION プロジェクト「職場のストレス対策効果検証」

研究協力企業追加募集オンライン説明会開催

産業保健の最先端研究にご協力いただき賛同企業様の追加募集を行います。実験後のフィードバックを含む、最先端の職場改善プログラムが無料で受けられます。情報基盤開発

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000129.000016738.html>

◆「透析になったらおしまい」ではない！

腎臓病が進行したときに取り組みたい透析療法って？

<https://news.yahoo.co.jp/articles/87457408888eb7becb43087c2e1a3232784f48b9>

日本の大人の 8 人に 1 人は、慢性腎臓病をかかえていると推測されています。腎臓は自分の存在を声高に主張することのない控えめな臓器なので、腎臓の働きが低下しても、ほとんどの人は気づきません。腎臓の働きが 2 割程度になってしまっても、「なんの自覚症状もない」という人もいます。（治療方法：透析療法 腎移植 腹膜透析）

◆おしえて 乳がんのコト【中外製薬】2023.12.08

<https://oshiete-gan.jp/breast/>

- 「リエゾンナース（精神看護専門看護師）からのメッセージ」の「がんと診断されたあなたへ」ページと

<https://oshiete-gan.jp/breast/mental-health/liaison-nurse1.html>

- 「患者さんの周囲の方へ」ページを公開しました。

<https://oshiete-gan.jp/breast/mental-health/liaison-nurse2.html>

◆誰もが活躍できる環境をつくる10のメリット

<https://news.yahoo.co.jp/articles/55b265256ca63a4137013cbb514202640f799746>

インクルーシブな職場がもたらす効果

インクルージョンが企業の業績に及ぼす影響を明らかにし、それを定量的に評価しようとする研究者もいる。そのような研究を通じて得た知見には説得力がある。研究の多くはいまだに過小評価されているため、本稿では、筆者らが有益と考えるものをいくつか紹介したい

◆働き方改革とは？働き方改革の背景と取り組みの具体例

<https://pro-partner.workany.jp/workstyle-reform/>

働き方改革の概要や目的、改革によってどのような変化がもたらされたのかを詳しく紹介します。

◆超高齢社会の現実！「介護送迎」で事故・トラブルが絶えない根本的理由とは

<https://news.yahoo.co.jp/articles/53e3c1644ec41327cb2c2712f2c9c86858cf8ec2>

- ・ドライバー採用が困難
- ・送迎業務が負担であり、介護専門職が担うことが多い
- ・駐車スペースがない、道路が狭いなどの道路事情 ーがある

小野田 富貴子（両立支援担当）

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 （メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com